

## 大町町長 水川 一哉



### オンリーワンへの挑戦！

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えるのことに、お慶び申し上げます。

昨年は4月に統一地方選挙が執行され、3期目の町政を任せていただき、新たなスタートを切りました。

多くの皆様から、温かい励ましと応援の言葉を賜り、心からの感謝と、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。



さて、1期目、2期目を通し、これまで町民の皆様にお約束してきた事、あるいは緊急的・突発的な事象・事案を含め、スピード感をもって、俯瞰的かつできることから、順次取り組み、実現をして参りました。

特に、ひっ迫した財政の立て直しに本旨を置き、課題であった買い物環境の改善の一環として、スーパーの誘致や、財源を確保することにより、町内巡回バスの運行、そして期待が高かった花火大会の復活や、子育て応援・教育施策では、出生祝い金の見直しや保育園・学校の給食費無償化、全教室へのエアコン設置、また激甚災害への対応に加え、防災ラジオの全世帯配備、地域や高齢者の絆づくり事業など、各般に渡り、職員と共に、「暮らしに寄り添う安心安全な町づくり」に全力を挙げて参りました。

ただ、2期目に挑んだ令和元年からの4年間は、2度の水害や3年を超える新型コロナウイルス感染症の拡大で、一部の取り組みが停滞しましたが、やらなければならぬことは、町民の皆様のご理解ご協力によりおおむね進捗することができました。

そして、3期目の次なるステップとして、大町町を

取り巻く現実を踏まえながら、「安心安全な暮らしと魅力あるオンリーワンの町づくり」に挑戦させていた

だきたいと、決意を新たにしているところであります。オンリーワンの町づくりは、知恵を出し合い、常に新たなアイデアを考え、不断の挑戦を続けていくことで、大町町の前進につながるものと考えます。

町のポテンシャルや可能性を、「大町らしさ」や「大町の独自性」に繋げる施策を通して【大町そのもの】を創り上げていくことを目指します。

例えば、私たち大町町民が昔から親しみ利用してきた町のメインストリートである「国道34号」は大町町の有用な活力資源であり、賑わいを創出するツールとして大きな役割を果たします。

毎日、およそ2万台の車が行き来し、大町町を東西に貫く、言わば大木の幹であり、そこに花を咲かせ、実を成すことが大町町活性化のカギだとも考えています。

また、大町町の新たな魅力とブランドづくりにも挑戦していきます。その一つに、有明海に面した大町特有の南面傾斜の水はけと日当たりが良い中山間地を活用し、官民が一体となって原料となるブドウ栽培からワイン醸造までの六次産業化計画を促進し、「大町ブランド夢のワインプロジェクト」を進め、初の大町産ワインの実現を目指したいと思っています。

それから、体力低下が心配される子供たちが、こぞつて外に出て体を動かしたり、スポーツを楽しんだりできる学校の環境づくりにも知恵を絞りたいと思います。